

平成22年度在外実務研修助成募集要項

1. 趣 旨 都市計画または環境・土木・建築設計を志す学生に対し、海外での実務経験の機会を与え、より広い視野から都市を考える研究者育成の一環として行うもので、研究機関、コンサル会社、設計事務所等での実務経験を研修内容とします。
2. 助成対象 都市工学、建築学、土木工学の学科を専攻する学生のうち、修士課程または博士課程に在籍する者で、所属大学の専攻主任の推薦する者。(但し、単位履修に支障のない学生に限ります。)
3. 助成予定件数、助成額及び助成対象期間
予定件数………2件、1件当たり30万円
助成対象期間…平成23年4月1日から平成24年3月までに研修を終えられることを前提に、3ヶ月程度の在外研修を目安とします
4. 応募手続
 - (1) 助成申請書………当財団ホームページより申請書をダウンロードください。
 - (2) 応募方法………海外での受け入れ先から、受け入れについての承諾書に責任者のインを頂いてください。(ここまでは応募者が行ってください。)
その受け入れ承諾書を添付の上、財団所定の申請書を使用し、必要事項を記載し、捺印のうえ、所属大学の専攻主任者の推薦を得て、事務局宛に簡易書留又は宅急便にて1部ご送付ください。
なお、受け入れ承諾書の添付が期日までに間に合わない場合は、その旨付記してください。(承諾提出見込み年月をご記入ください。)
応募の書類は返却しませんのであらかじめご了承下さい。
 - (3) 応募期間………平成22年10月15日(金)～平成22年11月20日(土)
(期日厳守・当日消印有効)
*書類に不備があるものについては、審査の対象としません。
5. 選考及び助成の決定 当財団の選考委員会において審査し、理事長が決定します。
採否は、平成23年3月末までに申請者ご本人に通知いたします。
6. 研究報告等 助成金を受けて研究を実施する学生は、助成期間終了後2ヶ月以内に、所定の実施報告書及び支出報告書を提出しなければなりません。また、受け入れ設計事務所での研修終了証に責任者のサインをもらい、研修実施報告書と併せてご提出いただきます。
また、本助成に基づき研修・研究されたことに関する報告書、その他の印刷物を作成した場合は、当財団の助成による旨のクレジットを入れるようお願いいたします。その際には、抜刷りもしくは印刷物を1部ご提出ください。
7. その他 申請内容に大幅な変更が生じた場合や、研修を中止した場合、虚偽の報告、必要な書類が提出されなかった場合には、助成金の交付取り消し、又は既に交付した助成金の一部もしくは全額の返還を求めることがあります。

〈応募先〉 財団法人大林都市研究振興財団

〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル5階

(助成係 ☎03-3546-7581)

<http://www.obayashifoundation.org>